

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年3月19日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648

FAX:758-4666

社会保障拡充へ署名の取り組みを広げましょう！

北海道勤医協 署名用紙が続々返送 後期高齢者医療反対時以来の反応

社会保障拡充署名の取り組みが進められています。北海道勤医協の取り組みを紹介します。（北海道勤医協「共同デスク」より）

各友の会が3/1友の会新聞に社保協・民医連のビラと署名用紙（社会保障の充実を求める請願署名）を折り込みました。病院を中心に、続々と署名の返送が届いています。

札病・札歯友の会では返信用受取人払いの封筒を入れたこともあり、3/7までに513通1512筆の署名が届きました。西・手稲友の会でも切手を貼らない封筒を入れましたが193通624筆が届き、東友の会は封筒を入れなかったのですが50通以上の郵送が届いています。札病友の会に届いた手紙(写真)には、50円切手10枚の寄付と共に「署名する機会をいただきうれしく思いました。こんなにひどい日本になっているのに何もしようとしない政治家に失望しています。私たちも動かなければ何も変えることができませんね」と書かれています。各友の会では「後期高齢者医療制度反対時の署名以来の大きな反響」と驚いています。



地域主権関連法きっかけに 札幌市が保育基準を引き下げ

「地域主権関連法」による条例制定 自治体の進捗状況を掴み、住民要求を反映させましょう

地域主権改革一括法により様々な分野の条例づくりが進められています。今年4月から実施（1年間の猶予あり）。札幌市は「児童福祉施設の設備や運営に関する条例」で、保育所の基準を乳児室の面積を5㎡から3.3㎡へ縮小、児童の給食施設に外部委託を認める内容を盛り込みました。各自治体で条例策定の動きを掴んで、住民要求を反映させるとりくみをすすめましょう。



3月13日（火）毎年恒例となっている札幌保育連・札幌保育労の対市交渉。4月から実施予定の保育料値上げの問題もあり120名が会場を埋めました。「保育料の値上げ」「最低基準の問題」2点を中心に交渉は進められ、保護者の思いや現場で働く保育士の状況が切々と訴えられました。

北区保育士の声：〇歳の発達にはスペースが重要。ハイハイが重要でその子たちからスペースを奪うのは危険、少しでも広い面積が必要、さらに詰め込みが増し危険が増える

面積基準の問題では木下会長が実際の面積を見せて説明、これだけの差があり子どもたちの成長や事故があったときの危険性を訴えました。札幌市は国の基準以上に設定している、保育料も他の政令都市と比較しても減免している。理解くださいますを繰り返していました（福祉保育労FAXニュースより）。

3.3 「ストップ消費税増税！増やせ社会保障！」集会から

「一言アピール」を紹介します。今回は福祉保育労の高脇さんの発言です。

公的保育の引き下げやめて！ 私もワーキングプアと変わらない年収 高脇さん



子ども・子育て新システムは、市町村の保育実施義務や最低基準を緩和し保育の市場化を進めるものです。札幌市は条例で保育所の給食施設に外部委託を認めました。札幌市が新システムに向けて動きだしていると危機を感じています。保育関係者にも伝えずに進めていることにも憤りを感じます。撤回する声を上げましょう。私は1年契約で更新する臨時職員で4年目になります。年収はワーキングプアと変わりません。実家暮らしで何とか生活しています。今でも生活に余裕がなく、自分がいつ契約を切られるのかわからない中、消費税が値上げされたらと不安が募ります。悪くならないようにしっかり声を上げていきたいと思えます。

子ども・子育て新システム導入は反対です。吹雪の中宣伝行動

3/3集会の後、札幌保育連は、三越前で市の保育料引き上げと国の子ども子育て新システムに反対する宣伝と署名を行いました。この日は雪も舞う寒い日でしたが、25人が参加し、父母や保育士の代表が次々とマイクで反対の訴えを行いました。（札幌社保協FAXニュースより）

